

公益財団法人 東京都中小企業振興公社  
理事長 殿

公 社 記 入 欄	
受付番号	
受付日	
受付者	

所在地	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇
名称	株式会社東京商店
代表者	(役職) 代表取締役 (氏名) 東京 太郎

「1. 申請者の概要」から転記されます。

印

## 年度 データ活用サポートプログラム

(データ活用促進支援事業)

代表社印を押印してください。

## 支 援 申 請 書

下記のとおり支援を受けたいので、申請します。

記

今回データ活用を行いたい事業と、活用するデータを記載してください。

申請テーマ

〇〇料理の飲食	事業における
来客・販売	
	データの活用による生産性向上

## 実施計画

「法人」、「個人事業者」、「創業予定者」から選択してください。

### 1. 申請者の概要

フリガナ	トウキョウショウテン			フリガナ	トウキョウ タロウ	
名 称	株式会社東京商店			代 表 者	氏 名	東京 太郎
組 織 形 態 ※基準日時点	法人			代 表 者	役 職	代表取締役
本 店 所 在 地	郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇	住 所	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇		
	T E L	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇				
都 内 登 記 所 在 地 ※本店所在地が都外場合記入	郵便番号		住 所			
	T E L					
事業開始年月日	創 業	〇〇〇〇/〇〇/〇〇		資 本 金	15,000,000 円	
	法人設立	〇〇〇〇/〇〇/〇〇			うち大企業出資分	2,000,000 円
役 員 数	4	人(監査役を含む)		従 業 員 数	15 人 (うち正社員 10 人)	
業 種	業種区分	小売業		中 分 類	76飲食店	
事業概要	飲食店					
自社WEBサイトURL	https://www.〇〇〇〇〇〇〇〇.co.jp					
連絡担当者	フリガナ	トウキョウ イチロウ		部 署	専務取締役	
	氏 名	東京 一郎		(役 職)		
	郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇	住 所	東京都〇〇区〇〇町〇-〇-〇		
	T E L	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇				
	E-mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.co.jp				
経営状況						
		前々々期	前々期	前期		
	売上高	80,750,000	85,000,000	76,500,000		
	売上総利益	42,000,000	47,250,000	37,250,000		
	営業利益	7,310,000	6,120,000	6,120,000		
経常利益	5,695,000	6,800,000	4,590,000			

「4. 役員・株主名簿」の役員数と同じ値を記入してください。

「履歴事項全部証明書」の値を記入してください。

「産業分類表」を参考に該当するものを選択してください。

「確定申告書」の数値を記入してください。未決算等の場合は未記入で構いません。

## 2. 事業の実施場所

本プログラムが実施される場所を記入してください。なお、自社施設(借り上げ可)に限ります。

名 称	〇〇店		T E L	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
所 在 地	郵便番号	〇〇〇-〇〇〇〇	住 所	東京都 〇〇区〇〇町〇-〇-〇	
最寄駅(バス停)	〇〇電鉄〇〇〇〇		線	〇〇〇〇 駅	

## 3. 公社及び他機関の支援事業利用状況

過去5年間に於いて、本申請と関係する内容で、公社及び他機関の専門家派遣、補助金・助成金事業等を利用している場合(予定も含む)、その詳細を記入してください。

### (1) 専門家派遣

No.	実施団体	事業名称	年度	派遣内容
ア	東京都中小企業振興公社	専門家派遣事業	〇〇	〇〇の改善
イ				
ウ				
エ				
オ				

利用がある場合は記入してください。  
未利用の場合は未記入で構いません。

基準日時点の状況を「申請」、「採  
択」、「完了」から選択してください。

### (2) 補助金・助成金

No.	実施団体	事業名称	年度	状況	採択テーマ・内容・対象設備
ア	経済産業省	IT導入補助金	〇〇	完了	〇〇の導入
イ					
ウ					
エ					
オ					

利用がある場合は記入してください。  
未利用の場合は未記入で構いません。

#### 4. 役員・株主名簿

①履歴事項全部証明書に記載されている監査役を含む全役員及び②持株比率が高い順番に並べた際の累計持ち株比率が70%を超えるまでの全株主を記入してください。

記載された方において①役員・株主・大企業の中で該当する項目全ての欄に「○」を選択し、②役員は「役職」、それ以外の方は「申請企業との関係又は職業」を役職等欄に記入してください。なお、行が足りない場合は新たな行を挿入して作成してください。

2020年4月1日 現在

No.	氏名	役員	株主	大企業	役職等	持ち株数	持ち株比率
(1)	東京 太郎	○	○		代表取締役	600	50.0%
(2)	東京 一郎	○	○		専務取締役	300	25.0%
(3)	(株)千代田商事		○	○	取引先(仕入先)	150	12.5%
(4)	新宿商事(株)		○		取引先(仕入先)	100	8.3%
(5)	東京 次郎	○	○		常務取締役	50	4.2%
(6)	東京 花子	○			監査役	0	0.0%
(7)							0.0%
(8)							0.0%
(9)							0.0%
(10)	その他の株主					0	0.0%
合計						1,200	100.0%

変更がない限り合計株式数が「履歴事項全部証明書」の発行済み株式数、又は「確定申告書 別表二」の持ち株数と同じ値になるように各株主の持ち株数を入力してください。

- ※ 創業予定者を含む法人登記予定の方は、全ての登記予定者を記載してください。
- ※ 個人事業者の場合は、氏名欄に代表者氏名を、役員欄に○を記入してください。
- ※ 複数の企業で申請する場合は、申請企業ごとに作成してください。

役員・株主名簿が「履歴事項全部証明書」又は「確定申告書 別表二」と異なる場合は、その理由を記載してください。

上記「役員・株主名簿」の中で、大企業に該当する株主・役員がある場合はその情報を記載してください。

No.	企業名	資本金額(円)	従業員数(人)	業種
(1)	(株)千代田商事	265,000,000	380 人	〇〇卸売業
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

## 5. 事業の内容

本プログラムの支援を受けたい貴社の事業について記載してください。(各項目100字以内)

会社全体ではなく、  
今回申請する事業について  
記載してください。

No.	項目	内容
(1)	事業名	〇〇料理の飲食業
(2)	事業概要	・営業時間: 11:00~22:00 ・日次売上高: 平日約〇〇万円、休日: 約〇〇万円 ・客単価: ランチタイムは〇千円、ディナータイムは〇千円程度
(3)	主要な製品・サービス	・席数: 1階〇〇名、離れにある宴会場〇〇名 ・メニュー: フードは〇〇種類以上、ドリンクは〇〇種類以上
(4)	顧客層・顧客数	・来店客数: 1日平均〇〇人 ・客層: ランチタイムは主婦層、ディナータイムは〇〇代~〇〇代男性が多い
(5)	仕入から販売までの流れ	お客様来店(予約)→注文→調理→提供→中間下げ→レジ精算→片付け

## 6. 申請理由

データ活用で解決したい経営課題と本プログラムの申請に至った背景・動機について記載してください。(各200字以内)

No.	項目	内容
(1)	自社の経営課題	・売上低迷 ・非効率な店舗運営
(2)	申請の背景・動機	・大手企業社員寮の移転と常連客の高齢化により来店客数及び売上高が減少し、平日のディナータイムの売上高が低迷している。また、近隣に高層マンションが建設され子育て世帯が増えているが、取り込めていない。 ・「販売予測のズレによる廃棄ロス」や「シフト組みの失敗によるムダ」が発生している。

## 7. 中長期的な期待成果・効果

数年後の状況として期待したい(または得たい)本プログラム活用の成果・効果について記載してください。(200字以内)

子育て世帯層や商圏外のお客様等のニーズに応じたメニュー開発や接客の見直しを行うことで顧客満足度を高め、新規顧客の取り込みや再来店率の向上を図る。

## 8. 短期的な期待成果・効果

プログラム終了直後の状況として期待したい(または得たい)本プログラム活用の成果・効果について記載してください。(200字以内)

既存顧客のニーズに応じたメニュー開発・絞り込みや販売予測の精度向上により、客単価の向上と収益性の改善を図る

## 9. 到達目標

1年間のプログラム終了時にデータ活用によって達成する目標値を設定してください。目標値を設定する際は、現状の数値を参考に、10%以内で選定し、それぞれ達成する目標値を設定してください。

No.	経営指標	現状値	目標値	単位	変化量 (自動計算)	
目-1	売上高	自社の年間売上高	76,500,000.0	84,150,000.0	円	10.0%
目-2	FL比率	自社の年平均のFL比率	60.0	55.0	%	▲8.3%
目-3						

「(平均)販売単価」、「(平均)顧客単価」、「(平均)仕入価格」、「(平均)製造単価」、「売上高」、「在庫」、「業務時間」、「成約率」、「来客数」、「FL比率」、「コンバージョンレート」、「問い合わせ件数」から目標として適切なものを選択してください。

設定した経営指標の詳細を記入してください。

## 10. データ活用実績（※任意回答項目）

顧客・販売データを活用して製品・サービスや経営の改善を実施したことがある場合は、その内容を記載してください。  
 ※CRMやPOSを始めとしたITツールやスタンプカード等のデータ活用の仕組みを導入している場合は、「現在の運用方法」を実施結果欄に記載してください。

No.	実施時期	活用したデータ	実施内容	実施結果
(1)	2010年	販売データ	POSレジの導入	日次で商品別売上情報を収集できるようにした。商品のマスター登録が進まず、販売データの分析ができていない。
(2)	2019年	顧客データ	アンケート調査の実施	一元客を中心に実施したものの、回答数が少なく、販売促進やサービス向上に反映することができなかった。
(3)				
(4)				
(5)				

## 11. 想定するデータ活用の姿（※任意回答項目）

現在持っている本プログラムの活用イメージを記載してください。

No.	活用するデータ	活用方法
(1)	販売データ	商品別の売上情報に原価情報を掛け合わせ、商品の絞り込みと新商品の開発に取り組む。また、曜日・時間別の来店数を分析し、営業シフトの見直す。
(2)	顧客データ	属性分析により傾向を把握し、最適な商品開発やアプローチを行う。
(3)		

## 12. 実施体制

申請内容に取り組むための実施体制を記載してください。

推進責任者	氏名	東京 一郎	部署・役職	専務取締役
	役割	全体統括		
	略歴	〇〇〇〇年入社、店舗運営全体、メニュー開発に携わる。		
改善メンバー	No.	氏名	役割	
	(1)	東京 次郎	POSシステムの改修、データ収集・分析、商圈調査	
	(2)			
	(3)			
	(4)			
	(5)			

### 13. 保有データの現状

本プログラムで活用することになるデータについて、①名称・総数・状態を記載し、②各内容について含有割合を最下部の選択肢を参考に当てはまるものを選んでください。なお、(1)～(3)の全てを記入するのではなく、自社の保有データに当てはまるものだけを作成してください。

#### (1) 顧客データ：BtoBビジネスの場合

No.	データの名称	保有データの総数	データの保存場所・状態	含まれている内容と総数に対する含有割合										
				会社名	住所	電話番号	業種・業界	流入経路	担当者名	担当者部署・役職	メールアドレス	作成日	コンタクト履歴	
ア														
イ														
ウ														

#### (2) 顧客データ：BtoCビジネスの場合

No.	データの名称	保有データの総数	データの保存場所・状態	含まれている内容と総数に対する含有割合									
				氏名	住所	電話番号	メールアドレス	流入経路	年齢	性別	作成日	コンタクト履歴	
ア	予約台帳	約〇〇件	紙の帳簿等	◎	▲	○	×	×	▲	○	○	×	
イ													
ウ													

#### (3) 販売データ

No.	データの名称	保有データの総数	データの保存場所・状態	含まれている内容と総数に対する含有割合									
				販売番号	品名	商品コード	販売日	販売数	単価	購入者属性	新規顧客・既存顧客		
ア	POS売上データ	約〇〇件	デジタルデータ	×	◎	×	◎	◎	◎	×	×		
イ													
ウ													

データ総数に対する各内容の含有割合の選択肢	含有割合	100%	75%以上	50%以上	25%以上	0%
	選択肢		◎	○	△	▲

#### 14. 共同申請構成表（※共同申請の場合のみ作成）

複数企業で共同申請する場合は、各社の役割を本表に記入してください。

共同申請構成企業等	代表企業	名称		担当者名	
		実施上の役割			
	参加企業等	名称		担当者名	
		実施上の役割			
	参加企業等	名称		担当者名	
		実施上の役割			
	参加企業等	名称		担当者名	
		実施上の役割			